

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

★ 第40回通常総会報告

- ・ 第40回通常総会議事録
- ・ 総会資料

★ 創立40周年記念式典報告

★ 創立40周年記念祝賀会報告

★ 平成29年度 新任者教育セミナー報告

★ 役員の役割分担

★ 関係機関・団体の動き

- ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
- ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
- ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
- ・ 千葉県環境計量協会
- ・ (一社)日本環境測定分析協会

★ 東環協からのお知らせ

- ・ 平成29年度第1回親睦ゴルフ大会報告
- ・ 平成29年度これからの主要行事予定
- ・ 事務局からのお知らせ

第 40 回通常総会報告

平成 29 年 6 月 1 日(木)、第 40 回通常総会が霞が関ビルの東海大学校友会館「望星の間」で開催されました。正会員出席社数 23 社、委任状提出社数 27 社と合わせ定数を充足していることから、定刻の 14 時 30 分、竹田副会長が総会の成立を宣言しました。議長には佐藤会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、15 時 20 分に無事終了致しました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

佐藤会長の挨拶

只今、ご紹介頂きました当協議会の会長を務めさせて頂いております(株)分析センターの佐藤です。総会に先立ち、開会の挨拶を申し上げます。



佐藤会長挨拶

昨年度の世界情勢は、6 月に行われましたイギリスの EU 連合離脱を問う国民投票から始まり、11 月のアメリカ大統領選では、クリントン氏を抑えてトランプ氏が勝利すると、産業界が変革を期待したためか、日経平均株価も大幅上昇、景気回復の兆しを感じる局面もありました。しかしながら、12 月に隣国の韓国において朴槿恵大統領の弾劾訴追案が可決され、罷免される出来事や新年 1 月にトランプ氏が大統領に就任し、オバマ政権とは異なる強硬路線を歩み始めた事で、急速に株価は下落、さらに北朝鮮の挑発行動や IS に関連したテロ事件の多発など世界情勢は極めて不安定で不透明な局面を迎えております。一方、国内では 7 月には東京都知事選が実施され、都民ファーストを掲げる小池知事が就任するや、築地市場の豊洲移転問題が浮上した事で、地下水汚染問題など我々が営む環境計量証明事業が連日 TV ニュースでもクローズアップされるようになりました。

このように、国内外の政治環境は激動の中にありますが、当協議会は今年 3 月、肅々と創立 40 周年の節目を迎えることができました。これも、東京都環境局や生活文化局計量検定所ほか関係団体からご指導・ご鞭撻を仰ぎながら、終始一貫して「環境測定・分析に関するデータ信頼性の向上」と「分析技術者のスキルアップ」をスローガンとして、会員企業の技術力の向上を目的とした事業活動を続けた結果の賜物と思っております。今日、ここに第 40 回通常総会を迎えられた事は、本当に会員皆様のご理解・ご協力があったの事と思っております。役員一同を代表して感謝申し上げます。有難うございました。

どうか、本通常総会におきましては、是非ともご活発なご質疑をお願い申し上げます。なお、本総会終了後に、創立 40 周年記念式典と祝賀会を用意させて頂きました。そのため、本日は長時間となりますが、何卒、皆様と共に 40 年の歩みを語り合いたいと存じますので、どうぞお付き合いの程、よろしくお願い申し上げます。誠に簡単ですが、開会の挨拶とさせて頂きます。



<通常総会風景>



<通常総会風景>

東京都環境計量協議会

平成29年度（第40回）通常総会

議 事 録

日 時 : 平成29年6月1日(木) 14:30～15:20
場 所 : 東海大学校友会館(東京都千代田区霞ヶ関3-2-5霞ヶ関ビル35階)
出 席 者 : 50社(うち委任状27社)

竹田副会長が14時30分、正会員総数68社中50社の出席があり、会則第12条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に佐藤会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、新日本環境調査(株)の川岸邦充氏と(株)日本シーシーエルの濱砂眞澄氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「平成28年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成28年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した。引き続き鈴木監事が、平成28年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「平成29年度事業計画(案)審議の件」及び第4号議案「平成29年度収支予算(案)審議の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

以上で第40回通常総会の議事が終了し、15時20分、竹田副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 佐藤 隆 
議事録署名人 濱砂 眞澄 
議事録署名人 川岸 邦充 

平 成 2 9 年 度

第 4 0 回

総 会 資 料

平成29年6月1日（木）

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

総 会 次 第

1. 日 時 平成 2 9 年 6 月 1 日 (木)
午後 2 時 3 0 分
2. 場 所 東海大学校友会館 「望星の間」
3. 総 会 の 成 立 と 開 会 宣 言
4. 会 長 挨 拶
5. 議 長 選 出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
 - 第 1 号 議 案 平成 2 8 年度 事業報告承認の件
 - 第 2 号 議 案 平成 2 8 年度 収支決算報告承認の件
監査結果報告
 - 第 3 号 議 案 平成 2 9 年度 事業計画 (案) 審議の件
 - 第 4 号 議 案 平成 2 9 年度 収支予算 (案) 審議の件
8. 閉 会 の 言 葉

はじめに

平成28年度は、世界に目を向けますと6月にイギリスのEU離脱、11月の全米大統領選では優勢とされたクリントン氏を抑えてトランプ氏が勝利すると、日経平均株価も大幅上昇、景気回復の兆しを感じる局面もありました。しかし、12月に隣国の韓国において朴大統領の弾劾訴追案が可決され罷免される出来事や1月にトランプ氏が米大統領に就任し、オバマ政権とは異なる強硬路線を歩み始めた事で、世界情勢は極めて不透明な局面を迎えた年と言えます。一方、国内では7月には東京都知事選が行われ、都政改革を掲げる小池知事が就任するや、築地市場の豊洲移転問題が浮上した事により、地下水汚染問題など環境計量証明事業がニュースでもクローズアップされるようになりました。

このような中、当協議会は今年で創立40周年の節目を迎えることとなり、今後も「測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスローガンとし、業界の更なる発展に寄与すべく、会員企業同士、あるいは会員企業と協賛企業とが相互に交流できるよう日々努めて参ります。

また、東京都計量検定所や東京都環境局ほか関係官庁からご指導・ご協力を仰ぐと共に、(一社)日本環境測定分析協会ならびに首都圏環境計量協議会連絡会、大阪環境測定分析事業者協会など関連団体との連携を図り「分析単価の適正化」に関する情報交換、若手技術者を対象とした「新任者教育セミナー」の開催、「技術研修会」、「事例発表会」、「研修見学会」等を通じた会員相互の交流と技術情報習得の一端を担って行きたいと考えております。

[第1号議案]

平成28年度事業報告

平成29年3月31日現在の会員数及び役員は次の通りです。

* 会員数

正 会 員	68社 (入会2社、退会5社、賛助会員へ種別変更1社)
賛 助 会 員	20社 (入会5社、正会員からの種別変更1社)
合 計	88社

* 役 員

会長 1名、副会長 2名、理事 7名、監事 2名、顧問 1名

1. 会議の開催

(1) 総会

平成28年度(第39回)通常総会

日 時：平成28年5月13日(金) 16:30～17:40

場 所：スクワール麴町（東京都千代田区麴町 6－6）

出席者：57社（うち委任状29社）

（2）役員会

全体会議：5回開催

平成28年5月13日、6月6日、10月13日、12月7日、平成29年3月15日

（3）委員会会議

技術、業務、広報の3委員会、必要に応じて担当理事及び委員による会議を開催しました。

2. 事業活動

（1）新任者教育セミナー

当協議会では「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画しております。その一環として、今年度も（一社）日本環境測定分析協会 関東支部との共催により第9回 新任者教育セミナーを開催しました。なお、今回も千葉県環境計量協会、（一社）埼玉県環境計量協議会、（一社）神奈川県環境計量協議会の4県単合同での開催とし、ほぼ満席の69名（東環協：15名、千環協：23名、埼環協：13名、神環協18名）と多くの方々にご参加いただきました。

日時：平成28年6月22日（水） 10:00～17:30

場所：（一社）日本環境測定分析協会 2F 研修室

内容：

講義1 （10:45～12:00）「労働安全衛生について」

講師 セフティレビュー 大山 喜彦 氏

講義2 （13:00～14:30）「環境計量の仕事とは」

講師 （一社）日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏

講義3 （14:45～16:15）「精度良い測定のために」

講師 （株）佐々木環境技術事務所 代表取締役 佐々木 克典 氏

修了証授与式&名刺交換会 （16:15～17:30）

◇ 講義1では、労働安全衛生の基礎から測定業務における安全管理や安全衛生の進め方、労働安全衛生法の改正によるストレスチェックやリスクアセスメントの義務化などについてお話がありました。受講者からは、リスクアセスメントについて更に理解が深まった、安全について改めて考えることが出来た、との感想が聞かれました。

◇ 講義2は「環境」という言葉の意味の変遷、国内環境関連法規や国際法規との繋がり、環境計量や作業環境測定等の事業登録制度、更には国際規格や資格取得に至るまで幅広い内容でした。受講者からは、資格も含めた目標を持つことが重要だと感じた、目的を持って仕事を進めることが大事だと思った、との感想が聞かれました。

◇ 講義3では、サンプリングの重要性や、化学分析における汚染(コンタミネーショ

ン)の防止、使用器具の正しい操作、試薬・標準液の管理、試験に使用する水についてのお話がありました。受講者からはサンプリングや分析での注意点を深く知ることが出来た、サンプリングの重要性を改めて認識した、との感想が聞かれました。

◇ 講義後の名刺交換会では、千環協、埼環協、神環協の参加者と共に、年齢、所属企業を越えて、それぞれ名刺を交わしつつ、仕事の情報交換をする光景が見られるなど、活気あふれる交流ができました。

(2) 環境測定技術事例発表会

特別講演では、国立大学法人 東京海洋大学の神田穰太 先生に「二酸化炭素収支から見る東京湾の水質と物質循環」というテーマでご講演頂きました。

事例発表では東環協から6題、当協会の友好団体である大環協より1題、多岐に亘る内容の計7題が発表されました。発表後には、活発な質疑応答もなされ、充実した発表会となりました。

日 時：平成28年11月16日(水) 10:30～19:30

場 所：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北4-2）

参加者：会員21社・44名ほか

内容：

<特別講演>

演 題：「二酸化炭素収支から見る東京湾の水質と物質循環」

講 師：国立大学法人 東京海洋大学 副学長 神田穰太 先生

◇ ご講演では1989 年から現在までについて、東京湾における有機物負荷量の発生源別の変化や栄養塩濃度の経年変化から東京湾の水質が改善されてきていること、さらには、東京湾内における二酸化炭素交換量などについての説明がありました。

<事例発表>

発表 ①「東日本大震災の被災地における化学物質環境実態追跡調査の生物分析結果のまとめとGPCを用いた一斉分析法について」

（発表者）いであ株式会社 高橋 厚

発表 ②「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業運営業務について」

（発表者）株式会社環境管理センター 牛 シン

発表 ③「分析装置にダイレクトに超純水を供給する」

（発表者）ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 黒木 祥文

発表 ④「環境分析に用いる分析機器の異物・不明物分析等への活用について」

（発表者）株式会社オオスミ 岩井 芳典

発表 ⑤「加熱脱着GC/MS/MSシステムによる有臭化合物の測定事例」

(発表者) 株式会社分析センター 渡邊 昇太

発表 ⑥ <大環協・交流講演>

「床仕上材および天井を付加したCLT床版の遮音性能に関する実験室測定」

(発表者) 一般財団法人日本建築総合試験所 村上 剛士

発表 ⑦ 「IoTデバイスを活用した室内空気の連続モニタリング」

(発表者) 環境リサーチ株式会社 耳塚 倫太郎

(3) 技術研修会

本年度の技術研修会では、埼玉大学大学院 准教授 関口和彦先生にご講演頂きました。また、(一財) あんしん財団から会員制度のご案内をして頂きました。

日 時：平成29年1月25日 (水) 14:45～17:00

場 所：アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区九段北4-2)

参加者：会員21社・29名ほか

内容：

<講演>

演 題：「大気光化学反応の空気浄化手法への応用と促進酸化手法を併用した分解生成物の抑制」

講 師：国立大学法人 埼玉大学

大学院理工学研究科 准教授 関口和彦 先生

◇ 光化学スモッグは様々な原因により発生しますが、その中でも特にVOCガスからの二次生成粒子による影響が現在では大きな要因となっています。関口先生からは、このVOCガスの都市大気における反応、二次粒子の生成メカニズム、それらの処理技術などについてご講演頂きました。

<ご案内>

テーマ：「経営と働く人を、守る・支える会員制度のご案内」

説明者：(一財) あんしん財団 北東京支局 業務推進課 江刺家 晋 氏

(4) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を、以下の通り開催しました。

日 時：平成29年1月25日（水） 17:30～19:30

場 所：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北4-2）

参加者：会員30社・57名ほか

- ◇ 佐藤会長からの新年挨拶に続いて、ご来賓の東京都環境局 環境改善部長 松永竜太様、東京都計量検定所 検査課長 山田敦久様、(一社)日本環境測定分析協会 会長 田中正廣様よりそれぞれご挨拶を頂戴しました。その後、(一社)日本環境測定分析協会関東支部 支部長の津上昌平様による乾杯で新春賀詞交歓会の開会となりました。
- ◇ 途中、新会員、賛助会員、協賛企業のご紹介を挟み、恒例のビンゴ大会となりました。満面の笑みを浮かべ賞品を受け取る方々で大いに盛り上がりました。

(5) 東環協ニュースの発行（年3回）

第162号：平成28年7月31日

第163号：平成29年1月23日

第164号：平成29年3月24日

(6) 東環協メール情報サービス（18件）

メール情報提供をNo.257～No.274まで行いました。

(7) 研修見学会

昨年同様、本年度の研修見学会も首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として首都圏4県単での合同開催となりました。

開催日：平成28年11月4日（金）

場 所：「埼玉県環境科学国際センター」、「埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園」

参加者：49名〔うち、東環協会員 8社（16名）〕

行 程：大宮駅 大宮ソニックシティ前・出発 → 埼玉県環境科学国際センター → 昼食（JA南彩食堂） → 埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園 → 屋内研修（大宮ソニックシティ） → 解散

- ◇ 鉄道トラブルの影響で急遽大宮ソニックシティに集合となりました。「埼玉県環境科学国際センター」では、センターの概要や取り組みについての講義を受け、デジタル地球儀「触れる地球」の体験、音響試験室の見学などを行いました。音響試験室の見学では、その大きさに驚嘆する様子や実際に手を叩いて音響効果を試す参加者の姿が見受けられました。

◇ 次に向かったのは「埼玉県自然学習センター」です。当センターは、荒川に隣接する谷や地形を活かした大自然公園で埼玉県の自然学習、環境教育の拠点施設です。今回の主催者・埼環協の吉田氏は森林インストラクターでもあり、同氏の解説を受けながらの自然体験で森林散策の面白さを知ることができました。

◇ 最後は大宮ソニックシティに戻り「屋内研修」でした。ゲームを取り入れた全員参加型の楽しい研修内容で、互いの親交を深めることが出来ました。

(8) 首都圏環協連関連事業

首都圏環協連委員会：4回

平成28年6月7日、9月6日、12月1日、平成29年2月10日

◇ 各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換しました。

(9) 技術交流事業

今年度も、大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、当協議会より1題を発表し、技術交流を深めて参りました。

開催日：平成28年9月21日（水）

演題：「LC/Q-TOF MSの環境分野および法科学分野への応用」

発表者：株式会社分析センター 木村 航

(10) 東京都計量検定所関連事業

「都民計量のひろば」

開催日：平成28年11月1日（火）

場 所：新宿駅西口イベント広場

主 催：都民計量のひろば実行委員会

構成団体：東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東環協等18団体

◇ 平成28年度の「都民計量のひろば」のメインテーマは「くらしと計量」、サブテーマは「感じてみよう！ 身近な計量」でした。

◇ 当協議会は例年通り「環境と計量コーナー」を担当し、騒音計、振動計などの展示を行いました。

環境クイズに参加された方は、300名超でした。クイズ終了後、参加者全員にエコグッズ〔(株)ヤクルト様提供のオープナー及び定規〕をお渡ししました。

(11) 平成28年度親睦ゴルフ大会

第1回（通算第32回）

開催日：平成28年6月17日（金）

場 所：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

参加者：16名

第2回（通算第33回）＊首都圏合同開催

開催日：平成28年10月28日（金）

場 所：キングフィールズゴルフクラブ

参加者：20名[うち東環協会員8名]

(12) ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月1回の更新を実施しました。

以 上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第3号議案]

平成29年度 事業計画（案）

1. 会議の開催

- (1) 総 会 平成29年6月1日(木)
- (2) 役員会 6回程度（予定）

2. 事業活動

(1) 技術関係

- ①新任者教育セミナー 6月21日
- ②研修見学会 10月（予定）
- ③環境測定技術事例発表会 11月（予定）
- ④技術研修会 平成30年1月（予定）

(2) 業務関係

- ①40周年記念行事 6月1日
- ②会員名簿の発行 7月（予定）
- ③新春賀詞交歓会 平成30年1月（予定）
- ④首都圏その他の連絡会議への参加 随 時
- ⑤その他（各種親睦会等）
 - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回（予定）
 - ・その他

(3) 広報関係

- ①ニュースの発行 年3回（予定）
- ②ホームページの更新 原則、月1回
- ③都民計量のひろば行事 11月1日（予定）
- ④各種資料の配付 随 時

(4) 官公庁その他に対する協力

- ①東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ②東京都環境局が行う講習会への協力
- ③(一社)日本環境測定分析協会が行う行事への協力
- ④その他

以 上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

東京都環境計量協議会 第40回通常総会 出席者名簿

平成29年6月1日

会場：東海大学校友会館 「望星の間」

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ（株）		
2	エヌエス環境（株）		
3	（株）オオスミ		
4	（株）環境管理センター		
6	（株）環境技研（杉並）		
7	（株）環境技術研究所		
9	（株）環境総合テクノス		
11	（株）産業分析センター		
12	（株）島津テクノリサーチ		
14	新日本環境調査（株）		
16	（株）総合環境分析		
17	ダイヤアクアソリューションズ（株）		
18	帝人エコ・サイエンス（株）		
19	（一財）東海技術センター		
21	（株）東京環境測定センター		
22	（株）トーニチコンサルタント		
23	（株）日新環境調査センター		
24	（株）日本シーシーエル		
26	日本滌化化学（株）		
27	（株）日本総合科学		
28	（株）日本分析		
30	ヒロエンジニアリング（株）		
34	（株）分析センター		

23社 34名

委任状

（株）伊藤公害調査研究所・（株）化学分析コンサルタント・（株）環境技研（板橋）・（株）環境技術センター・（株）環境総合リサーチ・（株）協進エンジニアリング・共和化工（株）・クボタ化水（株）・（株）クレアテラ・（一財）小林理学研究所・三葉化工（株）・三立エンジニアリング（株）・（株）ジェイペック・（株）四門・（株）総合水研究所・中央建鉄（株）・（株）長大・ドリコ（株）・日本板硝子環境アメニティ（株）・日本エコテック（株）・（一財）日本食品分析センター・（株）日本線路技術・芙蓉化学工業（株）・ムラタ計測器サービス（株）・（株）ヤクルト本社・八千代エンジニアリング（株）・リオンサービスセンター（株）

27社

創立 40 周年記念式典報告

今年は東京都環境計量協議会が発足して 40 年となりましたので、通常総会終了後東海大学校友会館「阿蘇の間」において創立 40 周年の記念式典を 15 時 30 分より開催しました。

佐藤会長の挨拶をはじめ、来賓の方よりご祝辞をいただきました。また、この 10 年の間に会長を勤められました鈴木様が特別功労者表彰、副会長を勤められました日山様、百瀬様、理事を長年勤められました川東様が功労者表彰を受けられました。

記念講演として東京都環境局環境改善部の茂木敏様より「東京都土壤汚染対策アドバイザー制度」についてご講演をいただきました。

会長挨拶、来賓のご祝辞、記念講演等、式典の詳細につきましては、「創立 40 周年記念誌」に掲載いたしますので後日、ご覧ください。

創立 40 周年記念式典

I. 開会挨拶

東京都環境計量協議会 会長 佐藤 隆

II. ご来賓祝辞

東京都環境局 環境改善部長 松永 竜太 様
東京都生活文化局計量検定所 所長 林 久美子 様
(一社)日本環境測定分析協会 会長 松村 徹 様

III. 功労者表彰

特別功労者 鈴木 幹夫 様
功労者 日山 貞由紀 様
功労者 百瀬 成一 様
功労者 川東 光三 様

IV. 記念講演

「土壤汚染対策と中小事業者支援」
東京都土壤汚染対策アドバイザー制度
東京都環境局環境改善部化学物質対策課 課長代理 茂木 敏 様



会長挨拶



式典に参加された方々



来賓ご祝辞
東京都環境局
環境改善部長 松永竜太様



祝電を確認する司会の
春雨や風子さんと佐藤
会長



特別功労者、功労者の表
彰を受けられた方々
左より川東様、日山様、
百瀬様、鈴木様



記念講演
茂木課長代理

東京都環境計量協議会創立40周年記念式典 出席者名簿

平成29年6月1日

会場：東海大学校友会館 「阿蘇の間」

来賓

東京都環境局 環境改善部	部長	松永 竜太	様
	課長	宗野 喜志	様
	化学物質対策課 課長代理	茂木 敏	様
東京都計量検定所	所長	林 久美子	様
	検査課長	山田 敦久	様
(一社) 日本環境測定分析協会	会長	松村 徹	様
	副会長	関口 和弘	様
	専務理事	須藤 欣一	様
	関東支部長	津上 昌平	様
大阪環境測定分析事業者協会	会長	石田 勝彦	様
(一社) 神奈川県環境計量協議会	会長	梶田 哲弘	様
	副会長	増田 健一	様
(一社) 埼玉環境計量協議会	会長	山崎 研一	様
	副会長	鈴木 竜一	様
	理事	野口 裕司	様
千葉県環境計量協会	会長	野口 康成	様
	副会長	山本 重俊	様
	副会長	福田 茂晴	様
	名誉理事	内野 洋之	様
東京都環境計量協議会	顧問	三階 貴男	様

特別功労者

いであ (株)	鈴木 幹夫	様
---------	-------	---

功労者

	百瀬 成一	様
	日山 貞由紀	様
(株) トーニチコンサルタント	川東 光三	様

会 員

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
3	いであ（株）		
4	エヌエス環境（株）		
6	（株）オオスミ		
9	（株）環境管理センター		
1 1	（株）環境技研（杉並）		
1 2	（株）環境技研（板橋）		
1 5	（株）環境技術研究所		
1 7	（株）環境総合テクノス		
1 9	（株）産業分析センター		
2 0	（株）サンヨー環境調査センター		
2 1	（株）島津テクノリサーチ		
2 3	新日本環境調査（株）		
2 5	（株）総合環境分析		
2 7	帝人エコ・サイエンス（株）		
2 8	（一財）東海技術センター		
3 1	（株）東京環境測定センター		
3 2	（株）日新環境調査センター		
3 3	（株）日本シーシーエル		
3 5	日本滌化化学（株）		
3 6	（株）日本総合科学		
3 7	（株）日本分析		
4 2	ヒロエンジニアリング（株）		
4 6	（株）分析センター		
4 7	環境工学研究所		賛助
4 8	（株）ミカミ		賛助

会員 25社 48名

協賛企業

No.	会 社 名	氏 名	備考
1	大起理化工業（株）		賛助
2	日本インスツルメンツ（株）		賛助
3	日本コントロールシステム（株）		賛助
4	松田産業（株）		賛助
5	ラボテック東日本（株）		賛助
6	（一財）あんしん財団		
7	全環境企業年金基金		

創立 40 周年記念祝賀会報告

創立 40 周年記念式典終了後、祝賀会が 17 時より、同じく東海大学校友会館「望星の間」にて、会員企業・協賛企業 38 社 69 名、来賓 20 名、特別功労者 1 名、功労者 3 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には東京都の環境局環境改善部、計量検定所をはじめ、（一社）日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会、（一社）神奈川県環境計量協議会、（一社）埼玉県環境計量協議会、千葉県環境計量協会の各役員、当協会顧問の三階貴男様をお迎えしました。

司会は式典から引き続き春雨や風子さんが務めました。佐藤会長の挨拶に始まり、来賓として日環協専務理事の須藤欣一様、千環協会長の野口康成様よりご祝辞をいただきました。日環協副会長の関口和弘様による乾杯のご発声により祝賀会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

途中、式典において特別功労者表彰、功労者表彰を受けました 4 名の方に、佐藤会長より記念品が渡され、表彰者を代表して、鈴木幹夫様よりお礼の挨拶をいただきました。また、協賛企業の皆様の紹介・挨拶が行われました。寄せられた祝電が披露された後、アトラクションとして、鏡味味千代さんの「太神楽」（写真参照）が行われ、皆様の喝采を受けていました。

宴たけなわの中、神環協会長の梶田哲弘様の音頭による中締めで、祝賀会が終了しました。ご参加いただいた皆様、有難うございました。



来賓ご祝辞
日本環境測定分析協会
専務理事 須藤欣一様



乾杯する関口日環協副会長



記念品を受取った功労
者の皆様



祝賀会 懇親風景



祝賀会 懇親風景



協賛企業の皆様



アトラクション
太神楽



アトラクション
太神楽



神環協 梶田会長によ
る中締め

東京都環境計量協議会創立40周年記念祝賀会 出席者名簿

平成29年6月1日

会場：東海大学校友会館 「望星の間」

来賓

東京都環境局 環境改善部	部長	松永 竜太	様
	課長	宗野 喜志	様
	化学物質対策課 課長代理	茂木 敏	様
東京都計量検定所	所長	林 久美子	様
	検査課長	山田 敦久	様
(一社) 日本環境測定分析協会	会長	松村 徹	様
	副会長	関口 和弘	様
	専務理事	須藤 欣一	様
	関東支部長	津上 昌平	様
大阪環境測定分析事業者協会	会長	石田 勝彦	様
(一社) 神奈川県環境計量協議会	会長	梶田 哲弘	様
	副会長	増田 健一	様
(一社) 埼玉環境計量協議会	会長	山崎 研一	様
	副会長	鈴木 竜一	様
	理事	野口 裕司	様
千葉県環境計量協会	会長	野口 康成	様
	副会長	山本 重俊	様
	副会長	福田 茂晴	様
	名誉理事	内野 洋之	様
東京都環境計量協議会	顧問	三階 貴男	様

特別功労者

いであ (株)	鈴木 幹夫	様
---------	-------	---

功労者

	百瀬 成一	様
	日山 貞由紀	様
(株) トーニチコンサルタンツ	川東 光三	様

会 員

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
3	いであ（株）		
4	エヌエス環境（株）		
7	（株）オオスミ		
8	（株）化学分析コンサルタント		
1 1	（株）環境管理センター		
1 3	（株）環境技研（杉並）		
1 4	（株）環境技研（板橋）		
1 7	（株）環境技術研究所		
1 9	（株）環境総合テクノス		
2 0	（株）環境総合リサーチ		
2 2	（株）産業分析センター		
2 3	（株）サンヨー環境調査センター		
2 4	（株）島津テクノリサーチ		
2 6	新日本環境調査（株）		
2 8	（株）総合環境分析		
3 1	帝人エコ・サイエンス（株）		
3 2	（一財）東海技術センター		
3 5	（株）東京環境測定センター		
3 6	（株）日新環境調査センター		
3 7	（株）日本シーシーエル		
3 9	日本滌化化学（株）		
4 0	（株）日本総合科学		
4 2	（株）日本分析		
4 7	ヒロエンジニアリング（株）		
5 1	（株）分析センター		
5 2	環境工学研究所		賛助
5 4	（株）東京科研		賛助
5 5	（株）ミカミ		賛助

会員 28社 55名

協賛企業

No.	会 社 名	氏 名	備考
1	(株) トーニチコンサルタント		会員
2	(株) グレイス		賛助
3	大起理化工業 (株)		賛助
4	日本インスツルメンツ(株)		賛助
5	日本コントロールシステム (株)		賛助
6	松田産業 (株)		賛助
7	ビーエルテック(株)		賛助
8	ラボテック東日本 (株)		賛助
9	(一財) あんしん財団		
10	全環境企業年金基金		

10社

14名

祝電

アイデックスラボラトリーズ(株) 代表取締役 クリーブランド・ウェイチャン・エン 様
 いであ(株) 代表取締役会長 田畑 日出男 様
 新日本環境調査(株) 代表取締役 川岸 邦充 様
 (一財) 新潟県環境分析センター 理事長 猪俣 勝一 様
 日本電子(株) 代表取締役社長 栗原 権右衛門 様
 山梨県環境計量協会 会長 丸山 和彦 様
 (株)リガク 代表取締役社長 志村 晶 様

お祝いの花

いであ(株) 代表取締役会長 田畑 日出男 様

平成 29 年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいりますが、その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。第 10 回目の開催となる今年度も一都三県の合同開催となり、ほぼ満席の 74 名（東環協：13 名、千環協：18 名、埼環協：17 名、神環協 26 名）と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 平成 29 年 6 月 21 日（水） 10:00～17:30

場 所 : （一社）日本環境測定分析協会 2 階研修室

講義 1 「労働安全衛生について」 （10:45～12:00）

講 師 : 中央災害防止協会 大山 喜彦 氏



〔講義目次〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 事業場の安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハインリッヒの 1:29:300 の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）とリスクアセスメント
7. 化学物質管理のリスクアセスメント
8. 危険予知訓練と指差呼称

〔講義概要〕

労働災害の発生件数は年々減少しているが、重大事故はやや増加の傾向にある。労働安全衛生法は、職場での事故、健康被害を予防するためにある。労働災害の発生の仕組み、原因を調査し、人のミス、装置等の故障が起きても災害にならない安全管理を構築する必要がある。近年では平成 18 年、26 年に法改正が有り、メンタルヘルス対策としてのストレスチェックや化学物質に対するリスクアセスメントの義務化が定められた。また、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）導入の背景、必要性が説明された。また、化学物質管理のリスクアセスメントの実施方法、ヒヤリ・ハット運動やKYT（危険予知訓練）による事故・災害防止の方法、作業リスクの考え方について説明があった。

講義 2 「環境計量の仕事とは」 (13:00～14:30)

講 師 : (一社)日本環境測定分析協会 関東支部長 津上昌平 氏



〔講義目次〕

1. 環境とは、環境問題の歴史的背景
2. 環境関連法規制の概要
3. 計量法と事業登録制度、資格制度
4. 国際規格
5. 環境関連資格取得のすすめ

環境計量士、作業環境測定士、公害防止管理者

臭気判定士、土壤汚染調査技術管理者、環境測定分析士

〔講義概要〕

「環境」という言葉の意味するところは、自然環境から社会環境まで幅広い。環境問題は公害問題から地球環境問題をへて環境経営（環境保全と経済発展の両立）に変遷している。

環境関連法規は、環境基本法を中心に水、大気、土壌、騒音・振動、リサイクル等多岐にわたる法律で形成されている。また、国際的法規も年毎に強化され、有害物質の規制とともに、国際条約の形で、生物多様性、地球温暖化、有害廃棄物越境移動、オゾン層破壊等についても取り決めがされている。

計量法や私たちが行っている環境計量証明事業や作業環境測定等の環境測定・分析に関わる事業登録について説明がなされた。他にISO等の国際規格があり社会のグローバル化と共に必要性が増している。環境測定に必要な資格としては、環境計量士をはじめ臭気判定士、環境測定分析士等有り、資格取得に挑戦してもらいたい。

講義 3 「精度良い測定のために」 (14:45～16:15)

講 師 : 村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏



〔講義目次〕

1. サンプルングの基礎
2. 環境測定に関する化学分析の基礎、機器分析法
3. 測定値の計算、分析値の管理、データの取り扱い

〔講義概要〕

環境測定においては、サンプリングが重要であり、いかに精度良い分析を行なってもサンプリングに誤差があつては、正しい測定結果は得られない。調査の目的を明確にして、採取地点、採取時間、方法等目的に合ったサンプリングを計画し行ふ必要がある。

環境測定に関する化学分析の基礎については、目的に合った分析方法の選択と共に、精度管理が重要であり、測定環境からの汚染(コンタミネーション)の防止、使用器具の正しい操作、試薬、標準液の管理が大切である。また、試験に使用する水も J I S で規定されており、目的に応じたグレードの水を使う必要がある。測定結果は種々の誤差を含む。内部制度管理を実施して、分析値の不確かさの要因を確認しておく。

また、近年の技能試験等の統計処理では z スコアが用いられており、自分の測定結果の精度を確認すると共に、外れ値となった場合には、その要因を検討しておく必要がある。

〔名刺交換会〕

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式の後、5 階の懇親会会場で、名刺交換会を行いました。入社間もない参加者にとっては名刺交換の練習という面もあり、活発にディスカッションを行っていました。限られた時間内での講義で質問時間も限りあり、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられ、お互い話題にも事欠かず一時間と短い時間では物足りないようでした。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。

〔アンケート結果（抜粋）〕

年 齢：10・20 代 66%、30 代 18%、40 代 14%、50 代以上 1%

性 別：男 69%、女 27%、未回答 3%

入社年数：1 年未満 72%、1～3 年 15%、3～5 年 5%、5 年以上 4%、未回答 3%

担当している分析・測定の分野：大気、水質、底質、土壌、産業廃棄物、臭気・悪臭、騒音・振動、作業環境、シックハウス、ダイオキシン類、絶縁油、農薬、アスベスト、金属、放射能・放射線、その他

講義内容については、3 題とも「大変参考になった」「参考になった」が 86%以上でした。

意見としては、「講義の内容が多い割には、時間が短い」等の要望があり、今後の運営に反映させていきたいと思ひます。



<受講風景>



<修了証授与式>



<名刺交換会 (1) >



<名刺交換会(2)>

平成 2 9 年 新任者教育セミナー 参加者名簿

平成 2 9 年 6 月 2 1 日 (水)

於 (一社) 日本環境測定分析協会 研修室

講 師

セフティレビュー

大山 喜彦氏

(一社) 日本環境測定分析協会

関東支部長

津上 昌平氏

村井技術士事務所

所長

村井 幸男氏

会 員

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	いであ (株)		
2	いであ (株)		
3	(株)伊藤公害調査研究所		
4	(株)環境技術研究所		
5	(株)環境技術研究所		
6	クボタ化水(株)		
7	(株)総合環境分析		
8	帝人エコ・サイエンス(株)		
9	(株)日本公害管理センター		
10	(株)日本公害管理センター		
11	(株)分析センター		
12	(株)分析センター		
13	(株)分析センター		

8 社 1 3 名

役員の役割分担

平成 29 年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	斉藤	志知	井上	池田	古畑	鈴木	中村
役員会議事録							○	◎		○		
ホームページ管理			○					○	◎			
資料作成管理		○	○									
会員名簿管理		◎										
首都圏連絡委員会	◎	○				○						○
東環協ニュース				◎					○	○	○	
官庁関係挨拶等	◎	○	○									
新任者教育セミナー	○	◎	○						○			
日環協関東支部 セミナー	◎	○	○									
研修見学会					○	◎			○	○		
大環協事例発表会	◎		○									
技術研修会	○		◎			○	○	○	○		○	
事例発表会	○		◎			○	○	○	○		○	
都民計量のひろば		○			○		◎			○		○
懇親会(ゴルフ、その他)		○			◎							○
新春懇親会	○	◎	○									
総会	○	◎	○									
会計監査	○	○	○								◎	○
役員会招集	○	◎	○									
40周年記念誌準備会	○		◎	○			○	○	○	○		○
事務局		◎										

◎ 主担当 ○ 担当

関係機関・団体の動き

平成 29 年 6 月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ・ 第 1 回委員会 | 6 月 15 日 | (株)分析センター |
| ・ 第 2 回委員会 | 9 月 13 日 | (株)分析センター |

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|-------------------|----------|-----------------|
| ・ 通常総会 | 5 月 24 日 | かながわ労働プラザ |
| ・ 親睦会 | 6 月 2 日 | 上総モナークカントリークラブ |
| ・ 神奈川県環境研究合同発表会 | 6 月 7 日 | 横浜市技能文化会館 |
| ・ 新任者セミナー (日環協共催) | 6 月 21 日 | (一社) 日本環境測定分析協会 |
| ・ 神奈川県職員研修会 | 6 月 21 日 | 神奈川県環境科学センター |
| ・ 親睦地曳き網大会 | 7 月 22 日 | 堀川網 (鵠沼海岸) |

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|-------------------|----------|-----------------|
| ・ 第 41 回通常総会 | 5 月 26 日 | With you さいたま |
| ・ 新任者セミナー (日環協共催) | 6 月 21 日 | (一社) 日本環境測定分析協会 |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|-------------------|----------|-----------------|
| ・ 通常総会 | 4 月 21 日 | プラザ菜の花 |
| ・ 経営者・中堅社員セミナー | 5 月 26 日 | プラザ菜の花 |
| ・ ソフトボール大会 | 6 月 3 日 | 稲毛海浜公園 |
| ・ 新任者セミナー (日環協共催) | 6 月 21 日 | (一社) 日本環境測定分析協会 |

○ (一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|----------------------------------|---------------------|------------------|
| ・ 日環協通常社員総会 | 5 月 29 日 | タワーホール船堀 |
| ・ 第 20 回日環協
経営者セミナー in KOBE | 7 月 14 日 | ANA クラウンプラザホテル神戸 |
| ・ 第 25 回日環協・環境セミナー
全国大会 in 千葉 | 10 月 12 日
～ 13 日 | TKP ガーデンシティ千葉 |

東環協からのお知らせ

○平成 29 年度第 1 回（通算第 34 回）親睦ゴルフ大会報告

去る 7 月 7 日（金）七夕の日に茨城県稲敷郡の阿見ゴルフクラブにて親睦ゴルフ大会を開催いたしました。梅雨明け宣言が未だだったので天候が心配でしたが予想に反し、晴天に恵まれ過ぎて大変な猛暑となりました。そのため OB を含めた参加者 12 名で「熱中症に注意し全員無事にホールアウトを目指しましょう！」を合言葉にして元気にスタートしました。過去に一度開催したコースでしたが、距離もありまたグリーンでは 3 パットに泣かされた方も続出したようです。途中、木陰で休憩をとったり水分を補給したりして何とか全員ホールアウトすることが出来ました。

表彰式を兼ねたパーティーでは、順位賞やドラコン・ニアピン賞が発表される度に歓声が上がっていました。最後に、優勝者のスピーチで締め括りましたが、当協議会の某役員の方がベスグロ優勝と相成りました。

大変暑い中ご参加頂き有難うございました。秋は首都圏合同での開催になります。開催日は 10 月 27 日 場所は千葉県のカングスフィールズ GC で行う予定です。

腕に自信のある方無い方問いませんので大勢の参加をお待ちしております。

○平成 29 年度これからの主要行事予定

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ・研修見学会 | 10 月 |
| ・技術研修会 | 平成 30 年 1 月 中旬予定 |
| ・都民計量のひろば | 11 月 1 日(水) |
| ・平成 29 年度第 2 回（通算第 35 回）親睦ゴルフ大会 | 10 月 27 日(金) |
| ・環境測定技術事例発表会 | 11 月 |
| ・賀詞交歓会 | 平成 30 年 1 月 中旬予定 |

○事務局からのお知らせ

・会員の動き

会員区分の変更

会 員 名：森永エンジニアリング(株)

会員区分：(旧) 正会員 (新) 賛助会員

社名変更

会 員 名：(旧) (株) 工生研 (新) 無臭元工業 (株)

現在の会員数（平成29年6月現在）

正 会 員 6 6 社

賛助会員 2 1 社 合 計 8 7 社

・編集後記

遅くなりましたが、第40回通常総会、創立40周年記念式典及び祝賀会、新任者教育セミナーを中心に編集した、平成29年度の最初の「東環協ニュース」第165号を発行いたしました。

創立40周年記念式典及び祝賀会につきましては、「創立40周年記念誌」を発行する予定ですので、詳細はそちらをご覧ください。

今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思います。「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がありましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しくお願い申し上げます。

アジレントのICP-MSは、さらに1桁上を行きます。



Agilent 7900 ICP-MS

アジレントは7900でICP-MSの究極を追及しました。



パワフルな性能

- 10倍向上したS/N比：バックグラウンドの低減および感度向上により、超微量レベルの分析が可能
- 10倍向上したマトリクス耐性：25%の飽和食塩水でもルーチン分析が可能
- 10倍広くなったダイナミックレンジ



ラボの生産性が向上

- ダイナミックレンジが広がったことにより、微量元素から%レベルまで一度の分析で分析可能
- UHMIにより、高いマトリクス試料の導入が可能
- ISISにより、さらにサンプル切り替え時間を短縮可能
- メンテナンス頻度の低減



パワフルでシンプルなソフトウェア

- ICP-MS MassHunterは、初心者にわかりやすく、かつ研究者が必要とする、多様な機能が搭載
- シンプルで直観的なユーザーインターフェースが、分析をステップごとにナビゲーション
- 独自のメソッドセットアップウィザードが、自動でメソッドを作成
- ICP-MSを、スマートフォンからモニターおよびコントロールすることが可能になり、フレキシビリティが向上

カスタムコンタクトセンタ 0120-477-111
www.agilent.com/chem/jp

アジレント・テクノロジー株式会社 本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
TEL.0120-477-111/FAX.0120-565-154 ©Agilent Technologies, Inc. 2016

The Measure of Confidence



Agilent Technologies

分析者の皆様へ

分析に最適な超純水をご提供するためにわたしたちエルガは常に純水装置メーカーとしてのこだわりを追求しています

求められる水質を得るために

超純水処理をすべて循環経路内で行うことにこだわります

→ 水質劣化を起こす採水口フィルターをお勧めしません

タンク水は必ず循環させること、必ず純水処理してご使用いただくことにこだわります

→ 水質が劣化しているタンク貯留水の使用をお勧めしません

安心して使用していただくために

水質表示は採水水質であることにこだわります

→ 製造時（タンクに貯めた時）の水質を表示して誤解を与えることはしません

水質表示はリアルタイムであることにこだわります

→ 採水時とは異なる水質を表示して誤解を与えることはしません

そして わたしたちエルガは

純水装置・超純水装置の性能も、得られる純水の水質も妥協することなく製品価格の適正化とランニングコストの低減を実現します



これがエルガの
純水装置メーカーとしての
こだわりです

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
エルガ・ラボウォーター事業部

お問い合わせ

〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー FAX : 03-5441-7071

e-mail : jp.elga.all.groups@veolia.com <http://www.elgalabwater.com>

2019 年卒・学生採用プラン

エコリク 2019

2019 年
新卒対象

新卒採用もエコリクに！

エコリク2019 は環境ビジネスを展開する企業の新卒採用を
トータルサポートする採用支援サービスです。

開催決定！

2018

2.17 (土)

環境ビジネス企業研究会

理系・環境系学生 200 名が参加する
限定 10 社 の就活企業説明会

詳しくは ➡ <https://ecoriku.jp/2019/company.html>

環境に特化したエコリクには、
理系及び環境分野を専攻する学生が多く登録しています。
理系・環境系学生へのアプローチなら
エコリクにお任せください

人材派遣、人材紹介のご依頼も承っております。

優良派遣事業者認定取得
職業紹介優良事業者認定取得

人材派遣 厚生労働大臣許可(派)13-010461
人材紹介 厚生労働大臣許可 13-ユ-010593

お問合せは ☎ 0120-700-871 E-mail : info@grace-e.co.jp

人と技術と環境の調和

Harmony among People, Technology, and Environment

高圧ガス工業グループ

安全

アセチレンガスのトップメーカーとして無事故の実績を水平展開する事によりガスの安全を追及

技術

安心

事業継続計画(BCP)による高圧ガス工業グループのガス充填工場5ヶ所(首都圏)より安定したガス供給体制

サービス

高圧ガス工業グループ33カ所(首都圏)体制によるフットワーク

JCSS標準ガス

キャリアガス

非接触型LSIカード

容器管理システム

ネットワークであらゆるニーズにお応えします

特殊塗料

衝撃吸収シート

瞬間接着剤

設計・製作・工事



高圧ガス工業株式会社

本社
東京事務所

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
ホームページ <http://www.koatsugas.co.jp>

TEL:06-7711-2570(代)
TEL:03-3595-3128(代)

特許第 5055524 号

DIK-2610

無粉塵型自動粉碎篩分け装置

RK4II

- ・ 環境分析の土壌粉碎・篩分けに最適
- ・ 土壌前処理時間の大幅な短縮を実現
- ・ 多試料の土壌粉碎と篩分けが短時間で可能
- ・ 粉塵がでないため、放射能汚染土壌の粉碎や篩分けも安心
- ・ 土壌の粉碎と直径 2mm 以下の篩分け工程が 1 台の装置で可能

無粉塵

粉 碎

篩分け

短時間

多試料



Webで
動画公開中!!

Web検索 **無粉塵型**

検索

土と水を守る

本社・工場 〒365-0001
西日本営業所 〒520-0801

大起理化工業株式会社

埼玉県鴻巣市赤城台212-8
滋賀県大津市におの浜2-1-21

<http://www.daiki.co.jp>

TEL 048-568-2500
TEL 077-510-8550

FAX 048-568-2505
FAX 077-510-8555

Ecologically Clean



オルガノ代理店 株式会社 東京科研

Ultra Purewater Technology of ORGANO

オルガノの超純水技術を凝縮した卓上装置の決定版!

超純水装置 ピューリック® FP- 純水装置 ピュアライト® PR-

アルファ



多様のニーズに応える多彩な機種をラインナップ。

高い水質グレードだけでなく、操作性、デザイン性まで突きつめた

新しい α の領域を体感下さい。

高品質・消耗品の低コストを実現いたしました。



- ディスペンサー特殊ノズル。
1 滴採水～最大流量でも飛散の少ないスムーズな採水可能。
- 採水口の菌汚染対策用に
新型UVの有無を選択できます。
- タンク内の制菌用に
新型UVの有無を選択できます。

● 高機能ディスペンサ / 超純水、純水合わせて3台まで搭載可能。(7.5mの範囲) / 「タッチパネル付」

超純水装置 ピューリック FP- α

FP-0120 α -UT0(UF仕様 TOC計付) 標準価格 ¥1,340,000

-MT0(MF仕様 TOC計付) 標準価格 ¥1,205,000

-M00(MF仕様) 標準価格 ¥812,000

- 超々純水用に独自精製した次世代イオン交換樹脂を採用しました。TOC溶出を最小限にしたイオン交換を二段処理しますので高純度かつ低TOCな超純水を安定的にご使用できます。
- 全ての機種で超純水タンク循環システムを採用しました。循環ラインから外れた場所で溶出や汚染の起きやすい採水口フィルターをつけなくても各種高感度分析に使用できます。
- 各種オミクスなどのバイオ研究用にUF仕様を採用すれば、RNase、DNase、エンドキシンフリーな超純水をご使用できます。またDEPC処理を不要にできますので、処理後のオートクレーブも不要です。



純水装置 ピュアライト PR- α

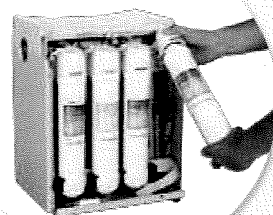
PR-0015 α -000(ベース仕様) 標準価格 ¥669,000

-X00(A4準拠) 標準価格 ¥875,000

-XT0(A4準拠 TOC計付) 標準価格 ¥1,258,000

- 簡単操作で低コストなワンタッチカートリッジを採用しました。カートリッジ交換が簡単装着可能。
- 純水装置では実現できなかった JIS K 0557 A4 グレードの水を製造可能になりました。
A4対応蒸留器の代替として節電、節水の省エネルギー化を実現できます。

簡単操作な
ワンタッチ
カートリッジ



お問い合わせ先 株式会社東京科研 機器営業部 TEL.03-3611-3817

写真整理や帳票作成の手間を軽減します！

土壌調査支援システム

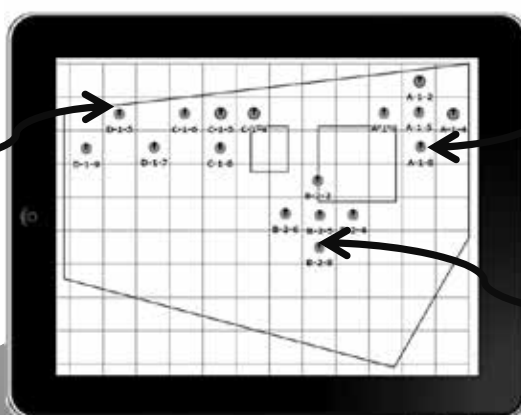
pictum土壌調査版

帝人エコ・サイエンス株式会社監修

製品の特長



ボーリングバー
削孔状況



施工後



検尺

写真整理！



簡単帳票作成！



データ共有！



スマホ／タブレットで図面上をタッチしながら写真撮影。
図面と写真の位置・向きがリンクするので、大量の写真を後から整理
する手間が省けます。



クラウドでのデータ一元管理により複数ユーザー間での情報共有が容
易になります。



ボタンひとつで簡単に帳票作成します。

pictum

検索

■製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム株式会社
<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

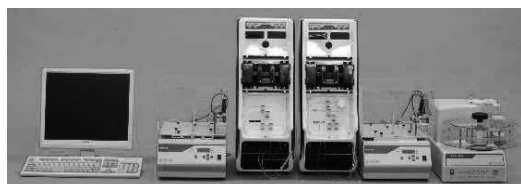
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F
TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)
MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

ビーエルテックの自動化学分析装置

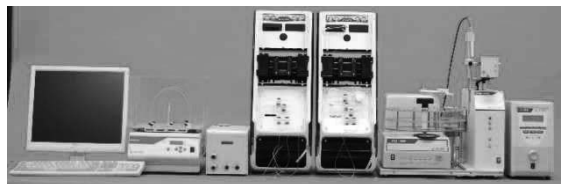
BLTEC 新型オートアナライザー 「SYNCA」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 デテクターの向上(24ビット)によりデータ量が多く取り出すことができます。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。
- 8 原理は、気泡分節型連続流れ分析法(**CFA**)で計量証明機関で多くの実績があります。



SYNCA - ふっ素シアン



SYNCA - 全窒素全りん

2013年9月20日に
流れ分析水質試験方法(JISK0170)
が工場排水試験法(JISK0102)に
収載されました。

2014年3月20日に環境省告示に
流れ分析法が追加されました。

JIK0102	項目名	JIK0102	項目名
28.1.3	フェノール類	43.1.3 43.2.6	亜硝酸イオン 硝酸イオン
30.1.4	陰イオン界面活性剤	45.6	全窒素
34.4	ふっ素化合物	46.1.4 46.3.4	りん化合物 全りん
38.5	シアン化合物	65.2.6	クロム(VI)
42.6	アンモニウムイオン		

全自動酸化分解前処理装置 DEENA

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます(オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)



DEENAm
(50mlバイアル 30本掛け)



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

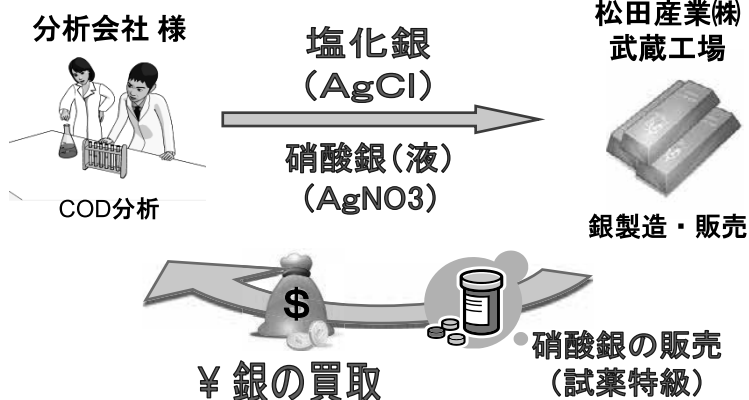
本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL:06-6445-2332 FAX:06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX:03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

塩化銀・分析廃棄物のことなら、 松田産業にお任せ下さい！！

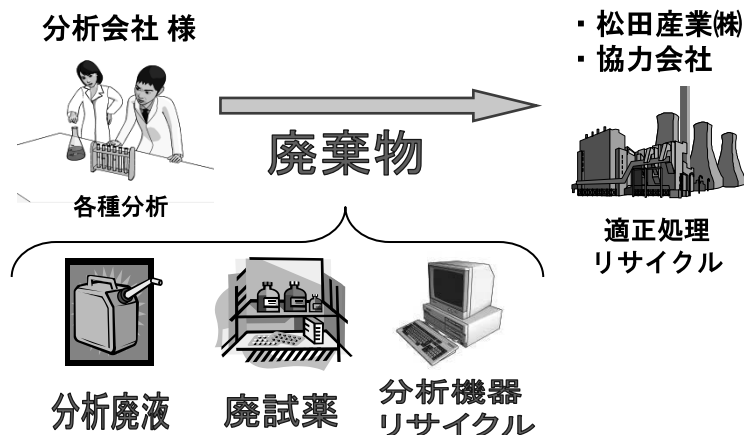
1. 塩化銀(COD分析)の買取



★弊社への委託のメリット★

- 銀量、銀相場に応じた買取
- 液状の硝酸銀でも買取可
- 硝酸銀試薬の販売 (塩化銀との相殺OK)
- 少量からでも買取可(1kg~)
- 全国対応可能

2. 各種分析工程より発生する廃棄物の適正処理



★弊社への委託のメリット★

- 廃棄物の適正処理・リサイクル
- 小口廃棄物の対応可 (少量でも低コスト提案可)
- 全国対応可能 (全国の産廃収運許可を保有)
- 廃棄物の総合コンサルティング (廃棄物でお困りの際は何でも相談下さい)



松田産業株式会社 アーバンリサイクル営業部

＜本社＞ 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル6F Tel.03-5909-5101

＜拠点＞

仙台営業所
埼玉営業所
東京営業所
神奈川営業所

Tel.022-236-3125
Tel.04-2900-0131
Tel.03-3993-3301
Tel.046-246-2095

名古屋営業所
大阪営業所
福岡営業所

Tel.0562-95-2111
Tel.06-6475-3301
Tel.092-631-1531

MIKAMI

MIKAMI Co., Ltd.

「皆様の分析、研究の手足となります」

試薬・理化学機材総合商社ミカミの武器は

機動力とスピードです

創業 68 年の実績と知恵をぜひ一度お試しください

- ① ネットでも難しいもの、探して届けます
- ② 御見積回答翌日までに致します
- ③ 試薬、理化学商材、世界の検索網にかけます

営 業 内 容

試薬・医薬品・動物薬品・理化学機器・修理・中古機器

 関東化学株式会社
KANTO KAGAKU

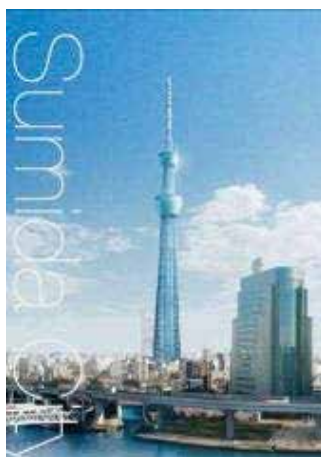
 TGK STATION

 Ken's ケニス株式会社

 SANSYO

 心をひとつに明日を拓く
AS ONE アズワン

 MERCK



研究室の総合プランナー
株 式 会 社 ミ カ ミ

〒131-0032 東京都墨田区東向島5-4-12

TEL: 03-3610-0331 FAX: 03-3610-0334

E-Mail: info@kkmikami.co.jp

HP: <http://www.kkmikami.co.jp>

MERCK



アプリケーション超純水 **Milli-Q® Integral**

選ばれてラボでの
超純水装置シェア

70%以上!

すべての用途に Milli-Q Integral 1 台で対応可能です

各種機器分析

機器分析タイプ



Millipak

HPLC・LC/MS

LC タイプ



LC-Pak



Millipak

環境ホルモン・VOC分析

環境分析タイプ



EDS-Pak



Millipak

ICP-MS分析・半導体洗浄

微量元素分析タイプ



Q-POD Element

細胞培養・遺伝子操作

バイオタイプ



BioPak

タンパク解析

プロテオームタイプ



BioPak



Millipak

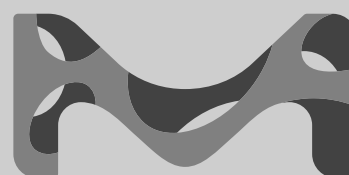
メルク株式会社

ライフサイエンス ラボラトリーウォーター事業部

〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F

製品の最新情報はこちら www.merckmillipore.jp/LW

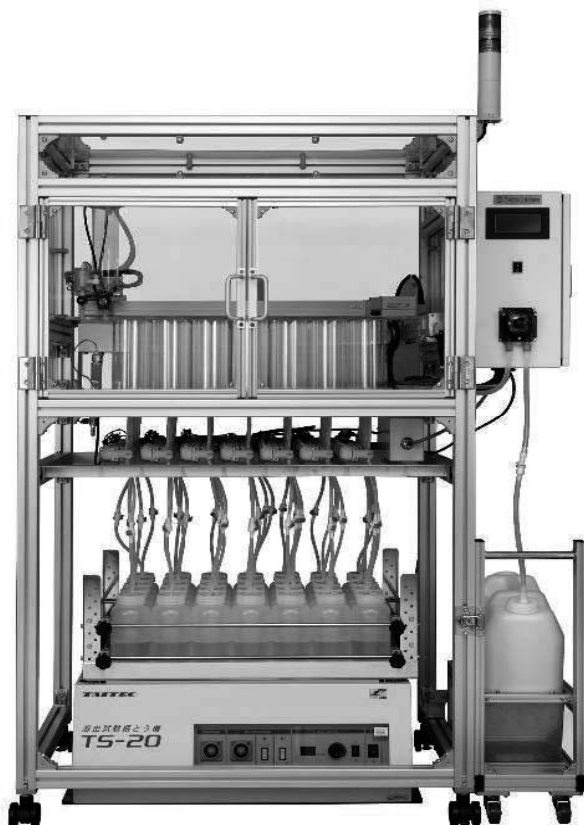
お問合せ ▶ On-Line: www.merckmillipore.jp/jpts Tel: 0120-013-148 Fax: 03-5434-4875



新開発

土壌用自動注水振とう装置 AI-35

- 純水分注から6時間振とうを完全自動化
- 夜間、休日を利用したスケジュール振とうで大幅にコスト削減



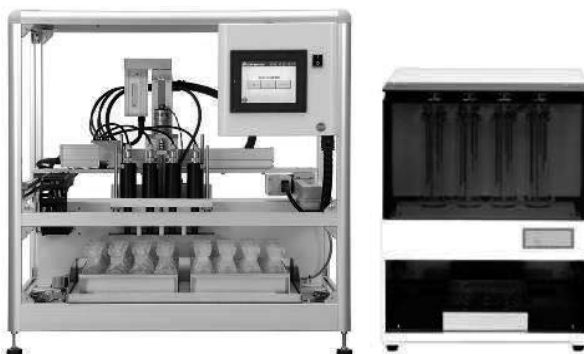
公定法の土壌溶出試験では検液作成において6時間振とうを行います。長時間の振とう時間の為、スケジュールの調整など大きな負担となっていました。

本装置は、土壌溶出試験の6時間振とうを無人で正確に行う装置です。終了日時を設定すると逆算して作業を開始し、各検体の純水の計量、注水、振とう開始、停止を自動で行いますので夜間に振とうを行い、出社時間から即、次工程のろ過などの作業に取り掛かる事ができご担当者様の負荷、コスト削減、厳密な工程管理、精度の向上が見込めます。

スケジュール設定 ⇒ 純水計量

⇒ 注水 ⇒ 振とう開始 ⇒ 振とう停止

ダイレクトタイプ 自動BOD測定装置
BOD-990シリーズ



本システムは、BOD測定の希釈、測定、データ処理作業を自動化したシステムです。希釈は、サンプルを投入する事により任意の希釈倍率で倍々の8検体3段希釈24本を、約4分で行うことができ、カセットを移す事により測定装置は、順次測定を行い、パソコンでJIS丸めま

n-ヘキサン抽出装置 HXシリーズ



JIS K 0102.24.3抽出容器による抽出法に基づき、ヘキサン抽出を自動化した装置です。

本シリーズは4、8、10検体と3機種をラインナップしており、検体数にあった機種を選択頂けます。また、環境水に対応した捕集濃縮装置も用意しております。

気になるエマルジョンの濃いサンプルや、SSの多いサンプルはクロスチェックサービスをご提供します。

【お問い合わせ】

 **ラボテック東日本株式会社**
LABOTEC EAST JAPAN CO.,Ltd.

担当:金田

〒135-0002

東京都江東区住吉2-2-6 2F

TEL 03-6659-6840

FAX 03-6659-6845

www.labotec-e.co.jp